

# 群馬の土地改良

No.265

冬の赤城山（前橋市）



## 新年のご挨拶

群馬県土地改良事業団体連合会会長 熊川 栄

厳寒の折、お健やかに新年を迎えられたことと存じます。

平素より会員の皆様には、当会の業務運営に格段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備の推進に対して、多大なるご尽力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や中東における軍事衝突などにより、国際情勢は混沌とし、世界的な物価高騰等、様々な問題に直面しております。日本国内においても肥料や燃料など生産コストの高騰が長らく続いており、大変厳しい状況にあります。

このような中、農政の憲法とよばれる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりの大幅な改正となり、「食料安全保障の確保」、「環境と調和のとれた食料システムの確立」、「農業の持続的な発展」、そして、「農村の振興」が柱として位置づけられました。

また、農業生産基盤等の確保のため、農産物の輸出促進といった新たな視点も追加されました。さらには、担い手不足を解消するため、デジタル技術を生かしたスマート農業を促進することなどが盛り込まれました。

基本法の改正を踏まえ、農業生産基盤の整備・保全に必要な施策を講じるために、土地改良法についても、令和7年の通常国会に向けてその改正の準備が進められております。

これら農業を取り巻く情勢を踏まえ、関係機関と更なる連携を図りながら、ほ場の大区画化、水田の汎用化・畑地化等の農地整備や農業水利施設の安定的な機能の発揮、老朽化への対応に向けた保全管理、防災・減災、国土強靱化の着実な推進が不可欠と考えます。

こうした中、国の農業農村整備事業関係予算は、令和7年度当初予算額は、4,464億円で概算決定され、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、TPP等関連対策及び食料安全保障対策の令和6年度補正予算と合わせると6,500億円となり、令和6年度を上回る予算が確保できる見通しとなりました。農業農村整備関係予算につきましては、引き続き全国の土地改良団体と連携し、「闘う土地改良」を旗印に関係機関に強く要請して参ります。

群馬県におかれましても、「群馬県農業農村整備計画2020」に基づき、「豊かで成長し続ける安心安全な農業・農村づくり」の実現に向けて、様々な施策が着実に展開されているところであります。

当会といたしましては、国や県の施策に呼応し、関係機関と連携を図りながら、これまで培ってきた技術と経験を最大限に活かして、「国の基」である農業の持続的な発展と、魅力あふれる農業・農村の実現に向け役職員一丸となって取り組んで参ります。

結びに、本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



## 新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会会長 二階 俊博

令和7年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、年始めの1月1日に石川県能登地方を震源とした震度7の大地震が発生し、能登半島を中心に甚大な被害が発生するとともに、9月には記録的な豪雨により奥能登ではさらに被害が増し、能登半島は未だ復旧、復興の途にあります。

また、全国各地で記録的な豪雨が相次ぎ、大きな被害が発生しました。被害を受けられた地域の日も早い復旧・復興を祈念するとともに、我々土地改良団体も団結して被災地の支援に取り組んでいかなければなりません。

さて、令和7年の干支は乙巳（きのとみ）であります。努力を重ね、物事を安定させていくという意味合いを持ち、これまでの努力や準備が実を結び始める時期とされています。これまで我々土地改良関係者が積み重ねてきた様々な努力が実を結ぶ年となることを強く祈念するところです。

昨年、食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の強化」、「環境と調和のとれた食料システムの確立」が新たな柱に位置付けられました。令和7年度農林水産関係予算は、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算となっており、農業農村整備事業関係予算においては4,464億円が確保され、令和6年度補正予算を加えると6,500億円となります。皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

第5次男女共同参画基本計画及び土地改良長期計画において、令和7年度までに女性理事が登用されていない土地改良区及び土地改良区連合をゼロに、併せて女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標に設定されており、いよいよ最終年度を迎えました。皆様の御理解をいただき着実に女性理事の登用が進められてきたところですが、目標達成に向け、更なる取組をお願いしたいと思います。将来の土地改良団体の体制強化と発展には女性の力は必要不可欠です。女性が活躍できる環境づくりに関係各位の一層の御理解と御協力をお願いします。

そして、本年は我々の職域の代表である宮崎雅夫さんの勝負の年ともなります。もう一人の代表である進藤金日子さんと共に全国津々浦々の現場を回り、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。二人体制の重要性を十分に御理解いただき、皆さんの声を国会に届けるためにお二人の活動の支援をお願いします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。「闘う土地改良」を旗印として組織一体となって更なる闘いを続けていこうではありませんか。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、新年の御挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

群馬県知事 山本 一太

明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆さまには、心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃から本県の農業農村の振興・発展はもとより、県政全般にわたりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、改めて気持ちを引き締め、県政の基本政策として掲げている「県民幸福度の向上」「新群馬の創造」「群馬モデルの発信」の実現など、新・群馬県総合計画の推進に全力を尽くしていく所存です。

去年は、選抜高校野球大会で高崎健康福祉大学高崎高校が群馬県勢初の優勝を果たしました。

またパリオリンピック・パラリンピックでは、群馬県ゆかりの選手たちがメダル獲得や入賞など、大きく活躍しました。若者たちの活躍が私たち県民に勇気と大きな感動を与えてくれた1年だったと思います。

県政においても、県立小児医療センターの群大病院隣接地への移転決定や移住者希望地ランキング全国2位への躍進など、群馬県が大きく飛躍する1年となりました。また県内12地域で開催した「未来構想フォーラム Next Stage」では、延べ約6千人の方にご来場いただいた他、ライブ配信を通じて27万人を超える方にご視聴いただきました。県民の皆さまに参加いただき、群馬県の未来や地域の課題について、貴重なご意見をいただくことができました。

今年是将来の新たな富の創出に向け、「製造業」と並ぶもう1つの産業として、群馬県独自のコンセプトである「デジタル・クリエイティブ産業」の創出を目指します。この産業の振興は、県内の幅広い産業の発展にもつながる、大きな可能性をもっていると考えています。

また子どもたちの非認知能力の育成やインクルーシブ教育の普及、多文化共生・共創の推進、医療提供体制の拡充や福祉施策のさらなる充実、災害レジリエンスの強化や安全安心を支える社会基盤整備など、県民の皆さまに身近な施策を着実に進めてまいります。

さらに「ぐんまフラワーパーク」のリニューアルオープンや、アジア初となるデジタルクリエイティブ人材育成施設「TUMO Gunma」のオープンも控えています。これらの施設がオープンした後、多くの皆さまに利活用いただけるよう全力を尽くすことをお約束します。

最後に知事就任以来、限られた資源で最大限の効果をあげる「ワイズスペンディング」を実践してきました。引き続き県民の皆さまとの対話を大切にして、広くご意見を伺いながら、民間リソースの活用や、自ら「稼ぐ」施策、デジタル化による行政改革などを積極的に進めます。それによって財源や人的資源を生み出し、新たな富の創出に向けた未来への投資や、持続可能な成長の促進、ひいては県民幸福度の向上につながる取り組みに集中させていきます。

新しい年が、会員の皆さまにとって幸多き素晴らしい1年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



## 新年のご挨拶

群馬県農政部長 砂盃 徹

新年明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素より群馬県農政の推進にあたりまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は記録的な夏の高温や秋の暖かい日が続き、前橋の7～10月の平均気温は、平年より2度以上高く厳しい夏でした。こういったこととも相まって、去年の元旦に能登半島地震が発生した石川県では、9月に線状降水帯の豪雨による二重災害を受け、被害が甚大化してしまいました。近年は、自然災害が繰り返される上、激甚化するようになってきています。

また、これら頻発する自然災害に加えて、国際情勢の変化や円安に伴う肥料、飼料、燃油の価格高騰等、農業経営を取り巻く状況は多くの課題に直面しています。

このような中、国では、昨年「食料・農業・農村基本法」を四半世紀ぶりに改正しました。食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの確立を新たに基本理念として位置づけ、現在、新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定作業が進められています。

また、農業農村整備の分野においては、食料・農業・農村基本法に「農業生産の基盤の整備及び保全に必要な施策を講ずる」と明記されたことから、農業水利施設等の適切な保全を継続するための対応について、検討が進められているところです。

群馬県では、群馬県農政の基本となる「群馬県農業農村振興計画2021-2025」を2021年3月に策定し、「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」を目指して推進してきました。2025年度は本計画の最終年度となりますので、計画に掲げる目標の達成に向け、しっかりと取り組んでまいります。

これに加えて、現在、農業生産基盤の強化、自然災害などリスクへの対応強化、国際情勢の影響を受けにくい「環境負荷低減・資源循環型農業」への構造転換等の取組を強化しています。

「力強い農業」、「活力ある農村」、「安全・安心な食」の確保には、その基盤となる農業農村整備が欠かせませんが、農業農村整備の実施や農業水利施設等の適切な保全には、会員の皆様と行政等が連携・協働し、一体となって取り組むことが不可欠でありますので、今後とも、力強い御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶いたします。



## 新年のご挨拶

群馬県県土整備部長 宮前 勝美

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、日頃より県土整備行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。特に、農業集落排水事業をはじめとする汚水処理事業の推進における皆様のご尽力に深く御礼申し上げます。

さて、群馬県では、県土整備分野の最上位計画である「ぐんま・県土整備プラン」の改定を進めており、本年4月には「ぐんま・県土整備プラン2025」が始動いたします。この新プランでは、「災害レジリエンスNo.1の実現」を引き続き最重点政策として掲げており、近年、予測困難な降雨リスクが増大する中、河川改修をはじめとするハード対策のさらなる加速を図るとともに、国、県、市町村、住民、企業など流域のあらゆる関係者が連携し、「流域治水」による水害対策を推進してまいります。この取り組みにより、土地利用と一体となった災害に強い県土づくりを目指し、県民全体で災害に立ち向かう体制を構築したいと考えています。

流域治水を進める上では、水田やため池などの洪水調節機能を活用することで、流域全体の洪水調節機能を維持・強化する効果も期待されるところであり、貴連合会の会員の皆様と引き続き連携し、推進してまいります。

また、新プランでは「美しく良好な環境の保全」を4つの政策の柱の一つとして掲げ、「健全な水循環の維持・回復」にも力を注いでまいります。この一環として、「群馬県汚水処理計画」に基づき、汚水処理人口普及率の向上に向け、人口減少社会を見据えた効率的かつ計画的な施設整備を進めます。具体的には、「下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスの更なる推進」、「広域化・共同化による市町村維持管理費の負担軽減」、そして「浄化槽処理促進区域の指定推進」を重点施策とし、さらなる成果を目指します。

加えて、多くの農業集落排水施設が老朽化の進行に伴い、機能低下や故障リスクの増大が懸念されています。このため、「維持管理適正化計画」の策定を支援し、施設の長寿命化や地域の実情を踏まえた改築・更新整備を推進するとともに、「広域化・共同化」による施設の統廃合や新技術の導入を積極的に進めていきたいと考えています。これにより、農業集落排水施設の持続的な経営の実現を目指し、関係市町村の皆様の取り組みを国と連携して支援してまいります。

今後も、群馬県土地改良事業団体連合会および会員の皆様と力を合わせ、効率的かつ効果的な汚水処理事業に全力を尽くしてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年にあたって

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金子子

群馬県土地改良事業団体連合会の皆様には、平素よりお世話になっています。

昨年は元日に能登半島地震、8月に宮崎県沖地震が発生し、南海トラフ地震の発生可能性が高まり、巨大地震注意臨時情報が発表されました。改めて地震大国日本を感じ、国土の防災・減災、国土強靱化を進めていく必要性を痛感した1年となりました。

昨年6月には食料・農業・農村基本法が改正され、初動の5年間を「農業構造転換集中対策期間」として農業政策の再構築を図ることとしており、本年は初動一年目の重要な年となります。

また、私は一昨年の12月14日から約11ヶ月間、財務大臣政務官を務め、国の財政について日常的に接する機会を得ました。国家財政の観点からも我が国の将来像を考えていく必要があります。

さて、現在の防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策は、計画期間が令和3～7年度、事業規模は概ね15兆円程度となっています。現在、次期対策の国土強靱化実施中期計画の検討が進められていますが、この計画に土地改良について「農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策」や「防災重点農業用ため池の防災・減災対策」等を位置付け、事業規模も現対策以上の規模を確保する必要があります。

次に農政については、本年3月までに食料・農業・農村基本計画が策定されます。政府の方針は、「輸入依存度の高い麦・大豆の増産、水田政策を見直す取組、輸出の抜本拡大を図る取組等について効果的な政策を基本計画に盛り込む」（令和6年8月27日、「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」）ことであり、今後、具体的な検討が進められます。

食料安全保障の確保のためには、食料自給力の強化が不可欠で、①土地改良対策、②担い手対策、③試験・研究、普及・生産対策をパッケージで実施することが必要です。このうち、土地改良については、令和6年度補正予算の2,037億円と令和7年度当初予算政府原案の4,464億円を加え、6,500億円の予算を確保しました。この予算を活用して対策を進めていく必要があります。

最後に我が国財政を見てみます。令和6年度末の公債残高は、特例公債（いわゆる赤字国債）残高が803兆円、建設公債残高が298兆円で1,105兆円となる見込みです。この15年間に公債残高はほぼ倍増し、赤字国債は2.26倍、建設公債は1.25倍となっています。建設国債は社会資本ストックを後世代に残すことから、後世代に負担を求めることが可能ですが、赤字国債の負担を求めることは困難です。デフレから完全脱却して経済成長を促し、将来にわたり税収を増やして財政の健全化を図り、後世代の負担を軽減し、政策選択の自由度を確保することが重要です。

農政や国土強靱化、我が国経済の転換の節目である令和7年のはじめにあたり、決意新たに農業農村の振興、国家の発展に向けまい進していきたいと考えています。同志の宮崎雅夫議員共々皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げるとともに、群馬県土地改良事業団体連合会の一層のご発展とご繁栄をお祈りいたします。



## 新年にあたって

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

群馬県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

また、昨年も能登半島地震をはじめ、全国各地で甚大な災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早く日常生活を取り戻して頂けるよう、復旧・復興に最大限の努力をまいります。

さて、昨年は、社会情勢の不安定化等に起因し、食料や資材価格等が高騰するとともに、全国的に食料供給に対する懸念も広がった1年でした。食料は、生命維持に不可欠なものであり、どのような事態が生じたとしても安定的に確保することが国の責務であります。このような状況に対応するため、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」を大幅に改正しました。また、次期通常国会においては、改正基本法に沿って、土地改良法を始めとする関係法令等の新設・改正を行うこととしています。

私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、国政の場から全力で対応してまいりました。土地改良関係の令和6年度補正予算では、昨年度の補正予算から260億円増の2,037億円を確保できました。加えて、12月に閣議決定した令和7年度当初予算案では、前年度を上回る4,464億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,500億円を確保することができました。皆様方のご尽力に感謝申し上げますとともに、次期通常国会において、早期成立に向け努力してまいります。

本年、私は節目の年となりますが、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、本年も引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、群馬県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念申しあげます。

# 第46回全国土地改良大会 千葉大会



主催者あいさつ  
全国水土里ネット 二階会長

挨拶、全国水土里ネット 二階会長による主催者挨拶、開催県である千葉県 熊谷知事、千葉市 橋本副市長から歓迎のことば、農林水産省農村振興局 青山次長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤、宮崎両参議院議員等から来賓の祝辞が述べられた後、猪口参議院議員を始めとした千葉県選出国會議員の紹介がありました。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰41名が表彰され、群馬県からは岡登堰土地改良区理事長の石原康男様が全国土地改良事業団体連合会長表彰の栄誉を賜りました。

続いて、農林水産省農村振興局 青山次長より「乗り越え、受け継ぐ土地改良」と題した基調講演が行われ、その後、篠本新井土地改良区 伊橋理事長より「集落営農型基盤整備」

令和6年10月22日(火)、千葉県千葉市の幕張メッセ・幕張イベントホールにおいて、第46回全国土地改良大会千葉大会が開催されました。

『ふさの国から飛び立て 水土里の恵み 力強く 未来に繋ごう水土里の礎』を大会テーマに、全国から土地改良関係者4,600名余りが参集し、群馬県からは土地改良区及び当会役員等119名が参加しました。

大会式典では、水土里ネット千葉 塚瀬副会長の開会宣言で幕を開け、水土里ネット千葉 森会長の開会挨拶



全国土地改良事業団体連合会長表彰  
岡登堰土地改良区理事長 石原康男様



大会旗引継ぎ ～次期開催の佐賀県へ～

(基盤整備と共に進める集落ぐるみの営農)と題した優良事例が紹介されました。

東葛北部土地改良区と小糸川沿岸土地改良区の職員により大会宣言が高らかに読み上げられた後、次期開催の佐賀大会を、令和7年10月15日からSAGAアリーナ(佐賀県佐賀市)で開催することが紹介され、水土里ネット千葉から全国水土里ネットへ大会旗が返還、水土里ネット佐賀へと引継がれました。

事業視察



成田用水事業（新川揚水機場）視察



成田国際空港（展望塔）視察

10月23日(水)の事業視察は、千葉県成田市において成田用水事業（新川揚水機場）と成田国際空港（展望塔）の2カ所を訪れました。

初めに、新川揚水機場において、(独)水資源機構 千葉用水成田総合管理所 成田用水事業所及び成田用水土地改良区から水管理の概要や改築事業の説明を受けた後、成田空港にある北総台地の畑作地帯が一望できる展望塔で説明を受けながら、見学しました。



参加者[バス1号車]



参加者[バス2号車]



参加者[バス3号車]

次期開催



第47回 全国土地改良大会  
**佐賀大会**

**2025.10.15** 水

会場 | SAGAアリーナ

水を利して土を活かす さがで語ろう郷里の未来

## 農業農村整備の集い及び要請活動

令和6年11月5日(火)、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に、全国水土里ネット、都道府県水土里ネットの共催による「農業農村整備の集いー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてー」が開催されました。

全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットから1,200名が参集し、当会役職員及び各支部の役員、ぐんま水土里ネット女性の会幹事等17名が参加しました。

開会にあたり、全国水土里ネット 二階会長から主催者挨拶があり、続いて小里農林水産大臣、城内経済安全保障担当大臣、森山自民党幹事長、西田公明党幹事長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤、宮崎両参議院議員から祝辞が述べられました。

その後、水土里ネット佐賀 田島会長により要請書が読み上げられ、満場一致で採択されました。来賓の紹介後、水土里ネット石川 前寺副会長より情勢報告が行われ、全国水土里ネット女性の会によるガンバロウ三唱で閉会しました。

また、当県参加者は、集い開催に併せ、当県選出国會議員に要請活動を行いました。

### 農業農村整備の集い



主催者挨拶 全国水土里ネット 二階会長



ガンバロウ三唱

### 要請活動



小淵 優子 衆議院議員



中曽根 弘文 参議院議員

# 令和6年度 土地改良区等役職員研修会

令和6年11月7日(木)～8日(金)の2日間、渋川市伊香保町「ホテル木暮」において、農業農村整備の円滑な推進と土地改良区の運営管理を行う役職員の技術向上を図ることを目的とした「令和6年度 土地改良区等役職員研修会」を開催しました。

熊川会長による挨拶に続き、来賓として出席された群馬県農政部参事 篠原農村整備課長から挨拶をいただきました。

研修は下記のとおり行われ、122名の参加者が熱心に受講されました。

## 1日目

研修科目	講師
土地改良法の見直し等について	関東農政局農村振興部 土地改良管理課 課長補佐 細貝 輝 様
所有者不明土地改良制度の活用について	関東農政局農村振興部 土地改良管理課 課長補佐 細貝 輝 様
多面的機能支払交付金を活用した吾妻中央高校の生徒と連携した農村を守る活動	美野原土地改良区 事務局長 富沢 邦義 様

## 2日目

研修科目	講師
スマート農業技術の活用について	群馬県農政部 農村整備課 係長 篠原 宏昭 様
群馬県農業・農村の振興と土地改良事業	高崎健康福祉大学 農学部生物生産学科 教授 地域連携室長 倉澤 政則 様
群馬県土地改良事業団体連合会の業務について	群馬県土地改良事業団体連合会 参事 松井 秀夫



開会挨拶 当会 熊川会長



来賓挨拶 篠原農村整備課長



高崎健康福祉大学 倉澤教授



研修会の様子

## 2024ため池フォーラム in あきた

令和6年11月7日(木)～8日(金)の2日間、都道府県職員や土地改良区職員等を対象に、ため池の保全活動や地域活性化への取り組み事例を情報共有し、危機管理意識の向上を目的とした「2024ため池フォーラム in あきた」が開催されました。

1日目は、秋田県秋田市の「あきた芸術劇場ミルハス」においてフォーラムが開催されました。秋田県 神部副知事による開会の挨拶にて幕を開け、農林水産省農村振興局整備部防災課 石井課長、全国水土里ネット 二神主任研究員、全国水土里ネット会長会議顧問 進藤参議院議員が祝辞を述べられました。

秋田県立大学生物資源科学学部 増本教授による「気候変動下のため池の管理と役割」の基調講演をはじめ、農林水産省より「農業用ため池の防災・減災対策について」の情勢報告、秋田県や水土里ネット秋田、土地改良区理事長の方々より事例発表があり、次期開催県である広島県 榎原部長の挨拶で閉会となりました。

2日目の現地見学会は、ため池の施設状況や管理方法等、維持管理の重要性や苦慮する内容等について説明を受けました。



現地見学会 秋田県 八郎潟干拓地

## 令和6年度 第2回理事会

令和6年11月29日(金)、当会において「令和6年度 第2回理事会」を開催しました。

齋藤副会長の挨拶に続き、9月20日の臨時総会で新たに理事に就任された広瀬桃木両用 水土地改良区 武士副理事長、高崎経済大学地域政策学部 片岡教授、監事に就任された甘楽多野 水土地改良区 新井理事長を紹介後、議事に入りました。

理事会は、理事11名、監事3名の出席のもと行われ、提出した議案は原案のとおり議決されました。その後、記載されている事項を報告しました。

### ◆議 事◆

議案第1号 令和6年度(第2回)収入支出補正予算について

### ◆報告事項◆

- (1) 第4次中期ビジョンの中間報告について
- (2) 本所庁舎耐震補強計画について
- (3) 東部事業所事務所移転の動向について
- (4) 積立資産の運用について  
(群馬県公募公債(10年)の購入)
- (5) 令和6年度臨時総会の開催報告について
- (6) 令和7年度群馬県当初予算に対する政調懇談会及び群馬県への要望活動について
- (7) 第46回全国土地改良大会千葉大会について
- (8) 農業農村整備の集いについて
- (9) ぐんま水土里ネット女性の会幹事会について
- (10) 会員等の振込に係る手数料について



## 令和6年度 第2回監事会及び監査

令和6年12月12日(木)、当会において「令和6年度 第2回監事会及び監査」を開催しました。監事会では、第1号から第3号の議事を審議し、監査では、令和6年度の業務、会計経理の状況を確認し、村上代表監事から「関係書類の調査・確認を行い、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに会員からの信頼のおける連合会であってほしい」との監査結果報告をいただきました。

### ◆議 事◆

- 第1号 監査の実施計画について
- 第2号 監査結果の処理方法について
- 第3号 その他監事が必要と認めた事項について

### ◆監査事項◆

- (1) 令和6年度業務に関する事項について
- (2) 令和6年度会計経理に関する事項について
- (3) その他



## 令和6年度 ため池サポートセンターぐんま 技術研修会

令和6年12月19日(木)、群馬県庁2階のビジターセンターにて技術研修会を実施しました。「ため池サポートセンターぐんま」では、群馬県内の防災重点ため池の点検指導や現地パトロールを実施し、市町村や土地改良区、水利組合などのため池管理者が適正な管理ができるよう指導を行っています。

普及啓発活動の一環として毎年技術研修会を実施しており、本年度は約50名が参加しました。研修会では、関東農政局農村振興部防災課 黒岩課長補佐より「ため池の防災減災対策について」をテーマにため池の整備事業や災害が発生した場合の対応について情報提供いただきました。

また、当会事業部管理課 藤井技師が現地パトロールについて説明を行いました。今後も、ため池管理者へ日常点検の重要性や安全管理について啓発していきます。

研修内容	講師
ため池の防災減災対策について	関東農政局農村振興部防災課 課長補佐 黒岩 明 様
防災重点農業用ため池の現地パトロール及び施設の点検指導について	ため池サポートセンター事務局 群馬県土地改良事業団体連合会 事業部 管理課 技師 藤井 祐貴



## 利根川水系農業水利協議会群馬県支部 委員会及び第26回通常総会

利根川水系農業水利協議会は、利根川水系における農業用水の確保及び渇水の対策など、農業水利に関わる諸問題を検討・協議するとともに、地域農業者の利益と福祉の増進を図り、農業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。令和6年10月24日(木)、群馬建設会館において委員会及び第26回通常総会が開催されました。総会では、1号から6号までの議案が提出され全て可決されました。

総会後には「農業用水を取り巻く状況について」群馬県農政部農村整備課 小笠原補佐より情報提供がありました。

### ◆議 事◆

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 令和5年度事業報告の承認について     |
| 第2号議案 | 令和5年度収入支出決算の承認について   |
| 第3号議案 | 令和6年度事業計画(案)について     |
| 第4号議案 | 令和6年度会費及び徴収方法(案)について |
| 第5号議案 | 令和6年度収入支出予算(案)について   |
| 第6号議案 | 群馬県支部役員の改選(案)について    |



通常総会

## 令和6年度 農業集落排水に関する絵画コンクール審査会及び表彰式

群馬県農業集落排水事業連絡協議会において、広報活動の一環として、農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に農村地域における「水と緑を取り巻く環境」を題材に絵画コンクールが実施され、農業集落排水事業を実施している県内の市町村に募集を行い、128作品の応募がありました。令和6年10月8日(火)、当会において審査会が行われ、応募作品の中から最優秀賞(群馬県知事賞)、上毛新聞社賞、群馬テレビ賞、エフエム群馬賞、連合会長賞、協議会長賞の上位6作品及び、優秀賞6作品、佳作12作品が選出されました。

表彰式は、10月26日(土)イオンモール太田にて開催された「ぐんまフェア」内で上位6作品の表彰を行いました。

どの作品も身近な田園風景や水田に生きる生き物が描かれており、個性豊かな作品が集まりました。



絵画コンクール審査会



絵画コンクール表彰式 記念撮影



[最優秀賞]「私のふるさと」  
吉岡町立明治小学校 6年 八木橋 滯さん

# 未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2024

令和6年10月8日(火)～9日(水)、砂防会館別館会議室において「未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展 2024」の審査が行われ、全3,068作品の応募の中から、大臣賞等6作品、協賛企業・団体賞26作品、地域団体賞53作品、入選146作品、佳作170作品が選考され、当県からは下記6作品が入賞しました。作品は12月4日(水)～11日(水)まで東京都美術館に展示されました。

「子ども絵画展」は全国水土里ネット及び都道府県水土里ネット主催により、子どもたちに田んぼや畑、水、農業・農村や自らの環境などに関心を持ってもらい、この財産を次世代へと引き継いでいくことを目的に開催されている未就学児から小学生以下を対象とした絵画コンクールで、今回で25回目となります。

水路、田んぼや棚田、畑、ため池、そこに棲む生き物たち、農業に関する古くから伝わる風習、郷土料理、様々な農作業風景や地域のお祭りなどを題材に子どもたちの目で感じたままの絵画を募集しております。

## (地域団体賞)



**高崎西部土地改良区  
理事長賞**

「田んぼと土と水の景色」

高崎市小学校2年 藤井 謙さん



**水土里ネット長野堰  
理事長賞**

「みんなで見学した

円とう分水」

高崎市小学校2年 関口 祐渡さん



**水土里ネットまちやば  
理事長賞**

「田んぼの水面に映る鉄塔」

太田市小学校6年 門脇 秋澄さん



## (協賛企業・団体賞)



**大林  
「つくるを拓く」賞**

「ひいばあちゃんの畑で

じゃがいもほり」

高崎市小学校4年 中澤 結翔さん



**竹中土木 人と地球の  
かけはし賞**

「おじいちゃんの田んぼに  
遊びにきたよ」

太田市小学校5年 越塚 翔太さん



**やまびこ賞**

「だいすきな水路の

さんぽみち」

高崎市小学校1年 星野 朋江さん



全国水土里ネットホームページに、作品集（電子ブック）が掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.inakajin.or.jp/works/pr/kids-art>



## 令和6年度 群馬県農業集落排水事業連絡協議会 現地研修会

令和6年12月13日(金)、栃木県小山市の「小山広域クリーンセンター」にて現地研修会が実施されました。群馬県農業集落排水事業連絡協議会では、事業の一環として現地研修会が隔年で実施されており、本年度は会員16名が参加しました。

「小山広域クリーンセンター」では、農業集落排水汚泥、浄化槽汚泥、し尿を脱水処理し学校給食センターや保育所から出る生ゴミを加えて発酵・熟成させ「すくすく君」という汚泥発酵肥料が生産されており、参加者はその生産工程の説明について熱心に耳を傾けていました。



## 2024ウォークイン邑楽(邑楽土地改良区)

令和6年10月20日(日)、邑楽土地改良区主催の「2024ウォークイン邑楽」が開催されました。邑楽土地改良区事務所を出発し、堰や排水機場を同土地改良区の役職員の説明をいただきながら見学し、約5.4kmのコースを散策しました。

ウォーキング後は、邑楽土地改良区 荒山理事長も演じられた、ひょっとこと和太鼓の地元芸能鑑賞会、お楽しみ抽選会が開催され、全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎参議院議員と小野田町議会副議長もご来場されました。

昼食として新米のおにぎり、地産作物を使用した豚汁、きゅうりの1本漬けが参加者全員に提供され、アンケートの回答により新米ときゅうりがお土産として配られました。



## 第2回「高崎の歴史再発見」コラボ展(長野堰土地改良区)

令和6年11月15日(金)～19日(火)、高崎シティギャラリーにおいて「高崎の歴史再発見」コラボ展 実行委員会主催による第2回「高崎の歴史再発見」コラボ展が開催され、5日間で1,122名が来場しました。昨年の第1回コラボ展は約900名が来場し、今回は目標としていた1,000名を達成しました。

高崎の各地域で研究された様々な視点の高崎の歴史がブースごとに展示され、その1ブースに長野堰土地改良区が出展しました。すべてのブースに展示されているジオラマや年表、写真等の資料について、長野堰を語りつぐ会など7団体及び有志者等で構成する実行委員会の方々が、来場者に分かりやすく熱心に説明していました。高崎の歴史が詰まった、楽しく歴史を学べる企画展でした。

今回展示されたジオラマ等の資料は、高崎中央図書館に展示されています。



会場の様子



長野堰土地改良区の展示資料



## 第8回「長野堰用水」を巡るまち歩き(長野堰土地改良区)

令和6年11月23日(土)、長野堰土地改良区主催、長野堰広域協定運営委員会(多面的機能支払交付金組織)共催による「長野堰用水」を巡るまち歩きが開催され、約60名が参加しました。

このまち歩きは、長野堰用水が「世界かんがい施設遺産」として平成28年度に登録となり、その記念事業として始めて8回目となります。

参加者は3班に分かれ、高崎市役所を出発し、長野堰に関する施設や町並み等を見学しながら約10kmを散策しました。それぞれの施設等について、長野堰を語りつぐ会の中嶋会長、副会長、参与の3名に高崎市の歴史や長野堰の歴史、堰の重要性等を説明していただきました。高崎市外からの参加者もあり、非常に有意義なイベントでした。



散策の様子



長野堰円筒分水堰

## 鹿田山周辺農地への菜たね播種作業(大間々用水土地改良区)

令和6年9月26日(木)、みどり市内の保育園児や群馬県立渡良瀬特別支援学校の生徒、地元の障害者支援施設の利用者等約600名が参加し、みどり市笠懸町の鹿田山周辺の畑約2万㎡に菜たね播きが行われました。

大間々用水土地改良区が事務局となっているNPO法人鹿田山環境保全ネットワークが中心となり行われている活動で、春には一面黄色い菜の花の絨毯に覆われます。育った菜種は“鹿田山菜たね油”として、ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

秋晴れの空の下、園児は裸足になって駆け回り、ふかふかの土の感触を楽しみながら、種を撒いていました。



## 鹿田山フットパス整備作業(大間々用水土地改良区)

令和6年11月7日(木)、NPO法人鹿田山環境保全ネットワークの主催により鹿田山フットパス整備作業が行われ、NPO法人に参加する多くの団体、群馬県立渡良瀬特別支援学校の生徒などが参加しました。当会から、若手職員研修の一環として11名が参加し、作業を手伝いました。

鹿田山の散策道路脇に用意したウッドチップの山から、スコップやフォークなどでバケツや一輪車に積み、雨による流失や自然経過で地肌が見えている散策道路に敷き詰める作業を行いました。

整備作業は、雑草の育成を抑えることができ、足や腰に優しい散策道路が仕上がりました。お昼は、昨年に引き続き地元女性部の手作りカレーが振る舞われました。



## 「いただきます2 ここは、発酵の楽園」上映会(阿左美沼土地改良区)

令和6年11月9日(土)、みどり市笠懸町「グンエイホールPAL」において群馬県東部農業事務所、阿左美沼土地改良区主催による「いただきます2 ここは、発酵の楽園」上映会が開催されました。

阿左美沼土地改良区、藪塚地区米作り体験学習事業委員会が実施している「田植えや稲刈り体験学習」に加え、将来の消費の中心を担う児童と保護者が、食と農について理解を深めること、将来にわたり持続可能な有機や特別栽培などの環境保全型農業への理解を促進することを目的に上映され、関係土地改良区役員並びに地元小学校児童への米作り応援活動団体関係者等116名が参加しました。



## 令和6年度ぐんま農業農村整備広報委員会による「学生向け現場見学会」

令和6年12月12日(木)、ぐんま農業農村整備広報委員会 広報検討部会の活動として「学生向け現場見学会」が開催されました。

ぐんま農業農村整備広報委員会では、群馬県の農業農村整備事業や農業農村の持つ多面的機能の発揮についての広報活動を行っております。

今年度は、藤岡北高等学校(環境土木科)、吾妻中央高等学校(環境工学科)の生徒が参加し、藤岡北高等学校にて「群馬県の農業/農業農村整備事業について」「群馬県庁の仕事について」「土地改良事業団体連合会の仕事について」「県営農村地域防災減災事業大谷牛秣地区について」の4講義を担当職員が行いました。その後、藤岡市内にある大谷池へ移動し、ため池の施設及びICT機器を搭載した建設機械によるため池の堤体補強工事の様子を見学しました。

参加した生徒からは、「実際に見ることで、ため池が何の役割をするのか理解できた」といった感想がありました。



# 謹んで新年のご挨拶を申し上げます



会長理事  
**熊川 栄**  
(嬭恋村長)



副会長理事  
**齋藤佐太夫**  
(大正用水  
土地改良区理事長)



副会長理事  
**長谷川最定**  
(南牧村長)



常務理事  
**片山 茂**  
(学識経験者)



理事  
**木村 實**  
(待矢場両堰  
土地改良区理事長)



理事  
**石川 徹**  
(群馬中部  
土地改良区理事長)



理事  
**後閑千代壽**  
(群馬用水  
土地改良区理事長)



理事  
**星野 好孝**  
(赤城大沼用水  
土地改良区理事長)



理事  
**井上 正文**  
(追貝平  
土地改良区理事長)



理事  
**石原 康男**  
(岡登堰  
土地改良区理事長)



理事  
**星野 稔**  
(沼田市長)



理事  
**倉林 良行**  
(長野堰  
土地改良区理事長)



理事  
**須永 治男**  
(近藤沼  
土地改良区理事長)



理事  
**小川 晶**  
(前橋市長)



理事  
**武士千雅子**  
(広瀬桃木両用水  
土地改良区副理事長)



理事  
**片岡 美喜**  
(高崎経済大学  
地域政策学部教授)



代表監事  
**村上 行正**  
(学識経験者)



監事  
**荒山江知郎**  
(邑楽土地改良区理事長)



監事  
**新井 節男**  
(甘楽多野用水  
土地改良区理事長)

外 職員一同



夢ふくらまそう・未来はぐくもう  
**ぐんまの農業農村整備**



群馬県土地改良事業団体連合会  
ホームページ

URL: <https://www.kakasi.or.jp/>

## 水土里ネット 群馬

本 所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4  
TEL 027-251-4105 fax 027-251-4139

中西部事業所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4  
TEL 027-251-4106 fax 027-251-4222

利根・吾妻事業所 〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1  
TEL 0278-23-2161 fax 0278-23-2180

東 部 事 業 所 〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29  
(太田市新田庁舎内)  
TEL 0276-55-6185 fax 0276-55-6186